

食菌性アザミウマ類6種の寄主に関する知見

柴田 智広*

Knowledge about hosts of six mycophagous thrips species.

Tomohiro SHIBATA*

(要旨) 著者は2012年から2023年にかけて福井県を中心にアザミウマ類を調査してきた。調査活動の中でアザミウマ類の採集と同時にその寄主も記録してきた。本稿では6種の食菌性アザミウマ類における通常の寄主から逸脱した採集記録を紹介する。

キーワード：食菌性アザミウマ，寄主

1 はじめに

アザミウマ類は体長0.8~7mm程度の昆虫で花・葉・茎・根などの植物組織上，森林などの堆葉層，枯葉・枯枝など枯死した植物上に棲息し，世界に約6500種 (Thripswiki https://thrips.info/wiki/Main_Page. 参照日2023年9月3日)，日本に約450種 (岡島・榎本2022) が知られている。食性は約半数が植食性，他の約半数は食菌性で，残る少数は食肉性であり，アザミウマ類の棲息環境である寄主 (植物及び枯死植物上の菌類) は多様である (Mound, 2018)。植食性アザミウマ類の寄主植物は種名まで判明していることがほとんどである一方で，菌食性アザミウマ類では寄主菌が特定されていることはほとんどない (ただし Ananthakrishnan & James, 1983; Ananthakrishnan & Suresh, 1983; Ananthakrishnan, 1990では例外的によく研究されている)。

著者は2012年から2023年にかけて福井県を中心にアザミウマ類を調査しており (柴田, 2015; 2016a, b; 2017a, b; 2019; 2020; 2022)，アザミウマ類の採集と同時にその寄主も記録してきた。アザミウマ類の寄主に関する情報は主に分類学的文献から得られることが多いが，調査の過程では文献に記載されている寄主から逸脱した場所から採集されることがしばしばあった。本稿では食菌性アザミウマ類6種について上述の採集記録を報告する。

2. 採集記録

種名は基本的に学名で示し和名のあるものには和名を付した。採集地，採集日と寄主を示す。福井県初記

録の種については分布情報を付した。分布情報及び和名については榎本 (2016) を，一般的な寄主の情報は Okajima (2006) を参考にした。同定は著者による。

Phlaeothripidae クダアザミウマ科

Idolothripinae オオアザミウマ亜科

Acallurothrips spinurus Okajima

大飯町島山神社：2♀，29.VI.2013. タケ類から採集
大飯町島山神社：1♀，4.V.2015. タケ類から採集
通常は広葉樹の枯枝から得られる。

ヨツコブトゲクダアザミウマ *Bactrothrips quadrituberculatus* (Bagnall)

三国町三国運動公園：7♀，30.X.2016. ササ類から採集 柴田 (2017) より引用
三国町三国運動公園：5♂，13♀，5.XI.2016. ササ類から採集 (柴田, 2017)
三国町三国運動公園：2♀，17.V.2017. アベマキの枯枝から採集 (柴田, 2017)
兵庫県摩耶山：1♂，18.VIII.2018. イネ科植物の根元から採集
京都府宝ヶ池：1♂，11.VI.2022. アラカシの枯枝から採集
通常は落葉広葉樹の枯枝から得られる。柴田 (2017) ではササ類からの採集記録を越冬のためと推測しているが，その後の調査 (2018年から2020年の10月から11月) では採集されていない。

*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui-shi, Fukui 918-8006, Japan

*E-mail: bactrothripsbrevitubus@gmail.com

Ethirotrips virgulae (Chen)

三国町雄島：1♂1♀，16.VI.2011. 枯枝から採集
 三国町雄島：4♀，16.IV.2012. ヤダケから採集
 敦賀市白木：3♀，5.V.2012. 枯枝から採集
 日本産の*Ethirotrips*属は主に枯葉・枯枝から得られる。雄島ではヤダケ及び枯枝の両方から得られている。

Nesothrips brevicollis (Bagnall)

敦賀市白木：2♂2♀，5.V.2012. タニウツギの花から採集
 小浜市西勢：5♀，3.V.2015. マダケから採集
 小浜市西勢：1♂4♀，3.V.2015. ウメの枯枝から採集
 福井市石橋町：5♂5♀，2.X.2021. トクサから採集
 通常はイネ科草本の根元から得られる。

Ophthothrips miscanthicola (Haga)

福井市石橋町：1♂，21.VIII.2021. トクサから採集
 通常はイネ科草本（主にススキ）の根元から得られる。

Phlaeothripinae クダアザミウマ亜科

Sophiothrips nigrus Hood (図1)

若狭町常神：1♂2♀，3.VI.2016. カヤツリグサ科草本の根元から採集
 分布：本州，小笠原（父島，母島），九州，沖縄（沖縄本島），宮古（宮古島），八重山（石垣島，西表島）；台湾，インドネシア，西マレーシア，シンガポール，タイ，インド
 通常は森林堆葉層，枯枝から得られる。福井県初記録。



図1. *Sophiothrips nigrus*

3. 終わりに

本稿では6種のアザミウマ類の通常の寄主から逸脱した採集記録を紹介した。記録時の状況は以下の通りである。①*Acallurothrips spinurus*，*Nesothrips brevicollis*，*Sophiothrips nigrus*はそれぞれの記録で複数個体が得られており，偶産（移動中の個体が偶然採集される）とは考えにくい。②*Nesothrips brevicollis*と*Ophthothrips miscanthicola*は通常はイネ科植物の根元から採集されるが，両種ともトクサから採集された。③*Ethirotrips virgulae*は三国町雄島ではヤダケと枯枝の両方から記録されている。④ヨツコブトゲクダアザミウマの記録はイネ科植物，アラカシからの記録は他のオオアザミウマ亜科（*Ophthothrips miscanthicola*：イネ科根本，*Bactrothrips carbonarius*：アラカシ）に混じって採集された。

上記6種中5種は菌類の胞子を食べると考えられているオオアザミウマ亜科に，1種は菌類の菌糸食べると考えられているクダアザミウマ亜科に属していて，両亜科ともに食菌性である（Mound, 1998）。昆虫を寄主に誘引する物質の生産にはしばしば菌類が関わっていることが報告されている（本田, 1989）が，食菌性アザミウマは健全な植物上には見られないことから菌類が植物を分解する過程で生じる物質に誘引されていることが推測される。

この時，基質となる植物種，それを分解する菌類種，誘引されるアザミウマ類の関係は不明であり，解明が望まれる。今回の記録から，アザミウマ類に対する誘引物質は，単一ではないことが予想される。

今後は採集調査において植食性・菌食性を問わず寄主について同定を確実にし，植物種・菌類種・アザミウマ種の間関係を明確にしていきたいと考えている。

謝辞

本稿の執筆と投稿にあたり福井市自然史博物館の出口翔大博士、梅村信哉氏には様々な便宜を図っていただいた。この場を借りて感謝申し上げる。

引用文献

- Ananthakrishnan, T.N., 1990, Reproductive Biology of Thrips. Indira Publishing House, 158p.
- Ananthakrishnan, T.N., and Suresh, G., 1983, Patterns of fungal resource utilization and feeding range in some mycophagous Tubulifera (Insecta: Thysanoptera). *Proc. Indian Acad. Sci.* **92**(4), 285-291.
- Ananthakrishnan, T.N., and James, P.W., 1983, Feeding Preferences in Some Sporophagous Idolothripinae (Tubulifera: Thysanoptera). *Proc. Indian Natn. Sci. Acad.* **49**(2), 86-92.
- 本田洋, 1989, 昆虫誘引物質と微生物. 科学と生物, **27**(11), 702-711.
- 榎本雅美, 2016, Order THYSANOPTERA 総翅目 (アザミウマ目). 日本昆虫目録編集委員会編, 日本昆虫目録第4巻準新翅類, 権歌書房, 44-85.
- Mound, L.A., 1998, Thysanoptera an Identification Guide 2nd Edition., CAB INTERNATIONAL, 70p.
- Mound, L.A., 2018, Biodiversity of Thysanoptera. In Robert G. Foottit and Peter H. Adler, eds., *Insect Biodiversity*, Wiley Blackwell, 483-500.
- Okajima, S., 2006, The Insect of Japan Vol.2., The Suborder Tubulifera. Touka Shobo, 720p.
- 岡島秀治・榎本雅身, 2022, 日本原色アザミウマ図鑑. 全国農村教育協会, 622p.
- 柴田智広, 2015, 福井県産オオアザミウマ亜科の分布記録. 福井市自然史博物館研究報告, (62), 81-82.
- 柴田智広, 2016a, 福井県産土壌性アザミウマの分布記録. 福井市自然史博物館研究報告, (63), 85-86.
- 柴田智広, 2016b, 福井県産 *Hoplothrips* 属3種の記録. 福井市自然史博物館研究報告, (63), 87-88.
- 柴田智広, 2017a, 足羽三山周辺のアザミウマ. 福井市自然史博物館研究報告, (64), 63-68.
- 柴田智広, 2017b, ヨツコブトゲクダアザミウマのササ類からの採集記録. 福井市自然史博物館研究報告, (64), 93-94.
- 柴田智広, 2019, 足羽三山周辺のアザミウマ補遺1. 福井市自然史博物館研究報告, (66), 85-88.
- 柴田智広, 2020, 坂井市三国町における *Ethirothrips antennalis* の採集記録. 福井市自然史博物館研究報告, (67), 87-88.
- 柴田智広, 2022, 三ノ峰周辺のアザミウマ類. 福井県自然保護センター研究報告, **25**, 43-49.

Knowledge about hosts of six mycophagous thrips species.
Tomohiro Shibata

Abstract

Collection records of six mycophagous thrips that deviates from usual host were listed.

Key words

Mycophagous thrips, Host

